

議会だより

No162

令和2年
1月31日発行



令和初の邑楽町成人式典

令和元年 12月定例会

令和元年度 補正予算可決（一般会計・各特別会計）

- 可決された議案…………… 3
- 提出議案と議員の賛否…………… 4
- 一般質問…………… 5～
- 議会報告会・意見交換会アンケート集計結果… 16～

一般質問 10人の議員が町の考えを問う

- ・ 大賀孝訓議員
- ・ 大野貞夫議員
- ・ 松村 潤議員
- ・ 松島茂喜議員
- ・ 原 義裕議員
- ・ 塩井早苗議員
- ・ 小久保隆光議員
- ・ 小島幸典議員
- ・ 島田時男議員
- ・ 小沢泰治議員

邑楽町議会のホームページに
アクセスできます

本会議の様子を動画による録画配信で
ご覧いただけます



議長年頭のあいさつ

町民に分かりやすい

開かれた議会を目指して



議長 神谷 長平

明けましておめでとうございます。令和2年の初春を迎え、町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は、大雨や台風などの大災害に見舞われた年でした。被災されました多くの方々、一日も早く落ち着いた平常な生活が送れることを願っております。

町議会においては、「町民に分かりやすい開かれた議会」を目指し、積極的な活動を行っております。昨年10月には区長の皆さまのご協力をいただき、議会基本条例の制定に向けた町民アンケート調査を実施いたしました。本年は、議会報告会や町民・各種団体との意見交換会などを開催してまいります。そして、開かれた議会、町民の意思が反映される議会を基本的な理念とする議会基本条例の制定に向け、積極的に取り組んでまいります。

町民の皆さまが安全・安心に暮らせる町づくりを目指し、事業執行のチェック機関として厳粛に役目を果たすことが議会に課せられた使命と考え、その職責を果たしてまいります。

本年も一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

議長 神谷長平

副議長 松村潤

総務教育常任委員会

委員長 大賀孝訓

副委員長 瀬山 登

委員 小島幸典

大野貞夫

松島茂喜

小久保隆光

産業福祉常任委員会

委員長 小沢泰治

副委員長 原 義裕

委員 松村潤

塩井早苗

黒田重利

佐藤富代

島田時男

可決された議案

〔条例改正等・規約変更の協議〕

群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について

群馬県水道企業団が常勤職員に係る退職手当の支給事務について、藤岡市が消防団員または消防吏員に係る賞じゅつ金支給事務の共同処理を令和2年4月1日から開始すること等に伴い、組合規約変更の協議をいたしました。

邑楽町職員の給与に関する条例の改正

人事院勧告及び県人事委員会勧告に基づき職員の期末勤勉手当を0・05%引き上げました。

邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する

条例の改正

邑楽町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の改正職員に準じて、議員と町三役の期末手当を0・05%引き上げました。

邑楽町会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例

「地方公務員法の一部を改正する法律」の施行に伴い、会計年度任用職員の勤務時間及び休暇等について条例を制定しました。

邑楽町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」の施行に伴い、会計年度任用職員の給与及び費用弁償について条例を制定しました。

地方公務員法及び地方自治

法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」の施行に伴い、関連する条例を整備しました。

邑楽町学校給食事業特別会計設置条例を廃止する条例

国の財政状況調査や地方公会計での報告において、給食事業は一般会計を主とする普通会計に区分されていることから、一般会計に統合するため条例を廃止しました。

邑楽町空家等対策の推進に関する条例

「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行に伴い、生活環境の保全及び安全で安心なまちづくりを推進するため条例を制定しました。

正 邑楽町公共下水道条例の改正

「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の成立に伴い、条例の一部を改正しました。

〔契約の締結事項の変更〕
令和元年度公共下水道管渠築造1-1工区工事

契約金額
5281万2000円から
5484万6000円
(203万4000円増)

※変更理由
10月1日からの消費税の引き上げなどのため。

令和元年度補正予算額（12月）

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	84億8,897万円	3億7,688万円	88億6,585万円
国民健康保険特別会計	33億4,865万円	1,258万円	33億6,123万円
後期高齢者医療特別会計	2億9,963万円	625万円	3億0,588万円
介護保険特別会計	20億5,687万円	8,645万円	21億4,332万円
下水道事業特別会計	2億9,655万円	44万円	2億9,699万円
学校給食事業特別会計	2億3,462万円	163万円	2億3,625万円

令和元年第4回邑楽町議会 定例会 提出議案と議員の賛否

議案等	議席番号														結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	議員名														
	島田時男	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	大賀孝訓	瀬山登喜	松島茂喜	塩井早苗	原義裕	松村潤	神谷長平	小沢泰治	大野貞夫	小島幸典	
議案第38号 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第39号 邑楽町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第40号 邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第41号 邑楽町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第42号 邑楽町会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第43号 邑楽町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第44号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第45号 邑楽町学校給食事業特別会計設置条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第46号 邑楽町空家等対策の推進に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第47号 邑楽町公共下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第48号 工事請負契約締結事項の変更について (令和元年度公共下水道管渠築造1-1工区工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第49号 令和元年度邑楽町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第50号 令和元年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第51号 令和元年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第52号 令和元年度邑楽町介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第53号 令和元年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議案第54号 令和元年度邑楽町学校給食事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決

※ ○…賛成 ×…反対
議…議長 (議長進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します)

町政を問う

一般質問

一般質問は、12月24日及び25日に行われました。質問には、10人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

- | | | | |
|--|-------|--|--------|
| ◆ 大賀孝訓 議員
教職員の人事交流と学力向上について | 5 ページ | ◆ 塩井早苗 議員
地域支援事業について | 10 ページ |
| ◆ 大野貞夫 議員
金子町長4期目に向けての Manifesto | 6 ページ | ◆ 小久保隆光 議員
地球環境の温暖化による非常災害 | 11 ページ |
| ◆ 松村 潤 議員
交通安全対策について | 7 ページ | ◆ 小島幸典 議員
令和2年度出産祝金助成事業について | 12 ページ |
| ◆ 松島茂喜 議員
町長の選挙公約について | 8 ページ | ◆ 島田時男 議員
国道354号沿線の開発について | 13 ページ |
| ◆ 原 義裕 議員
文化財の保管保全施設について | 9 ページ | ◆ 小沢泰治 議員
中学校の統合と町有財産の有効活用について | 14 ページ |

一般質問



大賀 孝訓
議員

教職員の人事交流と 学力向上について

問 教職員の人事異動は、役場職員や一般企業と違い、希望が出せる特殊な公務員である。転任と転補という異動があり、転任は他市町村へ、転補は同一市町村内で動くことである。人事に関しては、教育長が絶大な権限を持っている。問題は、この転補である。教職員の場合は、8年間で最長の目安とされている。これは新陳代謝を定期的に行わないとマイナス面が多いからである。人事異動は学力向上と切っても切れない関係がある。来年度の人事交流はどのようになっていくのか。

答 教育長 邑楽町から他市町へ、また他市町から邑楽町を希望する人も非常に減っている。現状は、邑楽郡内5町の教育長が相談し、いい人材を採るために頑張っている。町内でぐるぐる回すのは極力なくすよう努力し、各市町と交渉している。

問 各市町村とも優秀な教職員を希望しており、要らないという教員もいる。要らない教員は、他市町においても要らないのであり、これが問題である。希望が多い市町は、人事管理が緩いからではないか。この人事交流の課題を教育長はどう把握しているか。

答 教育長 人事交流の課題としては、教員の年齢層の問題、管理職を希望する教員の減少、学校運営

上転補だけの市町村もあり課題である。また、邑楽町で教員になりたい若者が少ないことも現状である。

問 教育長の答えたとおり、給与格差、長時間勤務労働が当たり前の教育現場、部活動の問題、保護者対応、生徒指導の問題、多忙化による心の問題など教職員が置かれている現状は大変な状況ではないか。どのように資質の向上を図っていくのか。

答 教育長 町の教育研究研修、情報教育研究を行っている。特に道徳においては、町の取り組みが県の道徳教育の評価モデルとして期待されている。保護者対

応、教育相談研修、生徒指導研修などは各学校が中心となっており、学校での相談窓口は、教頭、あるいは校長が自らその対応にあたっている。

問 太田市では何校かの小中学校を統合し、小中一貫校として、北の杜学園の開校を目指しているが、本町における小中学校の交流は進んでいるか。

小中学校の人事交流 を考えている

答 教育長 今年是小中学校の人事交流を考えている。

問 中1ギヤップの解消、学習効果の向上、学習効率の向上のため進めてほしいが。

答 教育長 小中学校教員としてのスキルを高めていくため、経験させていくことが本場に大事なことであり、と思っている。

※中1ギヤップ
一部の生徒が、小学校から中学校に進学した際の心理的、学問的、文化的なギャップとそれによるショックのこと



邑楽南中学校



大野 貞夫
議員

金子町長4期目に 向けてのマニフェスト

問 金子町長の選挙マニフェストは大きく分けると二つ目は、子育て対策、高齢者・障がい者に対しての福祉政策。二つ目は、教育、文化、スポーツ政策。

三つ目は、災害対策。四つ目は、国道354号沿線の開発など提起されたが、このように理解してよいか。

公約実現に向けて
頑張っていく

答 町長 その内容で町民に訴えてきた。そのように理解していただき、順次早いうちに公約実現に向けて頑張っていきたい。

問 少子化対策については、邑楽町第六次総合計画の基本理念にもうたわれて

いる。その少子化対策の一つとして、給食費の無料化について、現在の県内の状況を資料で示しながら実施を訴えてきた。町長の公約にある給食費の無料化に向けて、思い切った施策を願

いたいのが、どのように進めていくのか。

答 町長 4月から実施できるのか含め、担当に指示している。基本的には、部分的に軽減策をとっていき

問 過日の全員協議会で提案された出産祝金について、それぞれ2万円を切り離し、直接子どもに使えるように制度、仕組みを変えようとする提案だ。出産祝金は、当然子どものため

に使う。行政側がいちいち指示する必要はなく、支給された家庭で自由に判断していいのではないか。2万円を別枠にすることは、実質的には減額になっていく

と思う。新年度予算に向けての考えはあるのか。

答 町長 要綱があり、それを考える考えは現在ない。制度を十分に生かした中で、町の商工振興を図ることも含め考えていきたい。

問 高齢者と障がい者福祉の充実については、福祉タクシー券の拡充とあるが具体的な考えはあるのか。

答 町長 今行っている福祉タクシー券の交付にプラスし、運転免許証返納

者が該当した場合には、その該当者へも福祉タクシー券の拡充として進めていきたい。

問 障がい者の就労施設の建設、農業と福祉の連携の推進について具体的な考えはあるのか。

答 町長 施設の支援については、現在計画を持つている団体があり、町としても県の採択が受けられるよう支援していく。農福連携については、障がい者

の皆さんが就労するにあたり、邑楽町は農業振興が進んでいるので農家の皆さんの理解をいただく中で、連携がとれる環境づくりをしていきたい。

問 邑楽町第六次総合計画の現在の進捗状況は。

答 町長 最新の平成30年度の評価では、75・93%で推移している。

その他の一般質問
・町独自の環境公害防止等に関する条例の作成

幼稚園・保育園児への給食費は無料

町独自の子育て、支援策として3〜5歳の保育園の無料化に加え給食費を無料とします。小中学校児童生徒への給食費の無料化へ向け、保護者の負担を軽減します。中学卒業までの医療費の無料、高校卒業までの入院時医療費の無料は引き続き実施します。



災害への備えを確立します

災害に備え危機管理体制を強化し、防災の大切さを周知し、防災意識の高揚を図ります。災害情報を町民の皆さんに、迅速に伝達する体制づくりを確立します。さらに高齢者、災害弱者世帯などに対し、防災無線の戸別受信機の導入を検討します。



中央公民館（邑の森ホール）完成

中央公民館が、国から建設費の40%、6億9千8百万円の補助を受けて完成しました。開館1年で10万9千人の方々にご利用されています。文化の薫り高い町づくりと交流人口の増加で、元気のある町づくりを進めます。



国道354号沿線を開発し活力ある町づくりを進めます

国道354号線沿線に農産物販売所の建設を複数生産振興・地産地消を推進します。森林〜高幹間バス高速輸送(B,R,T)のステーション設置計画を支援し生活の利便性向上を図ります。新たな工業団地を造成します。優良企業を誘致し雇用の創出を図ります。



一般質問



松村 潤
議員

交通安全対策について

問 自転車は誰でも気軽に乗れる環境にやさしい乗り物であり、交通手段として多くの人が利用している。全国的に自転車事故は年々減少しているが、自転車対歩行者の接触事故に限ると年間約2500件である。本町における自転車事故の実態は。

答 **安全安心課長** 平成26年が18件、平成27年が24件、平成28年が26件、平成29年が23件、平成30年が25件である。

問 中学生は現在、自転車通学をしているが、通学許可の条件は。

答 **学校教育課長** 入学時や年度初めに、自転車通学許可願を学校長に提出

している。「交通規則を守る。ヘルメットをかぶる。自転車の整備を行う。届け出た自転車を使用する。」こと、また毎学期の初めには自転車の点検をすることを条件に、自転車通学を認めている。

問 自転車通学中、雨の日などスリップし道路で転倒、ケガをした場合の補償は、日本スポーツ振興センターの給付が受けられるが、他人にケガをさせた場合は、この給付は受けられない。自転車利用者が加害者になる事故で高額な損害賠償請求事例が発生している。中学生に自転車通学を許可していることを考えると、万が一のために保険の

加入は重要であると考えられる。加入は重要であると考えられるが。

答 **学校教育課長** 中学校では、保険会社の資料を生徒に渡しているが、それぞれの家庭の事情や保険の加入状況なども各自で異なることから、必ず加入するように指導はしていない。

問 本町にそれでいいのか、自転車事故を起こした年齢層を見ると、19歳以下の事故件数が全体の4割を占めている。自転車は車両の一種で事故を起こすと刑事上の責任が問われ、損害賠償も発生するが。

答 **教育長** 保険の加入は強制ではないが、賠償能力がある保険の必要性を知らせていきたい。

問 平成29年度中の自転車側が加害者となった事故は、1万5000件あり加害者側の3割の方が保険に未加入だった。加害者が賠償金を払えない場合、被害者は泣き寝入りせざるを得ない。加害者、被害者の不幸を回避するために、自転車保険の義務化が必要と考えるが。

答 **安全安心課長** 条例化については、全国88の自治体で制定している。自転車保険の加入について、町民、特に小中学生の保護者に必要性を周知しながら条例を整備するか否かについて協議をしていく。

問 国は、全国一律で自転車利用者に保険加入を義務づけるかどうか検討しているが、県内他市町村に先駆けて保険加入への条例化を推進してはどうか。

答 **町長** 町民の皆さんをはじめ、小中高校生の保護者に保険加入への意識の啓蒙を図ることが大事だ。条例の制定は今後考えていく。

条例の制定は今後考える



自転車通学の中学生

一般質問



原 義裕
議員

文化財の保管保全施設 について

問 町の天然記念物をはじめ、文化財など具体的に聞かせて欲しい。

答 生涯学習課長 天然記念物は、国指定が永明寺のキンモクセイ、県指定は神光寺の大方ヤ・高島小学校のトウグミなどで町指定も7件ある。町指定の文化財は15件あり、代表的なものでは慶徳寺の山門がある。町指定重要有形民族文化財は中野拵一式、無形民俗文化財は長柄神社の里神楽、天王元宿の祇園囃子がある。また、町民から寄贈を受けた昔の生活用具・農具や古文書などが多数ある。

問 11月に中央公民館で邑楽町文化財展が開催されたが、見学者からの評価

感想を聞きたい。

答 生涯学習課長 今年のお来場者は479人で、どんな文化財があるのか意外と知らなかったという町民からの声があり、町の文化財をPRする機会になった。

問 貴重な文化財が住谷崎の多目的センターにあるが、どの様な状態になっているのか。

答 教育長 古民家で、中には右に馬小屋、上がりはなには囲炉裏があり、太い大黒柱がある。農家から寄付をされた農具が所狭しとあり、町指定の文化財のほとんどがある。また、旧中野公民館には中野拵の道具が一式ある。貴重なもの

はこれからも保管していく。

問 住谷崎の多目的センターには約800点の民具があるが、ただ積んであるように見える。中野拵については、旧中野公民館の片隅に日の目を見ない状態で保管されている。起源は鎌倉時代にさかのぼり、明治27年には中野織物協同組合が組織され、地場産業として栄えた。大正時代には西の大和拵、東の中野拵とも言われたが。

問 この文化財を恵まれた地域環境と合体させた

観光開発はできないものか。
答 町長 資源を最大限活用して観光事業に結びつけることは大切である。

問 邑楽町第四次、第五次、第六次総合計画には、文化財は後世に残すとあるが保管場所は。

答 総務課長 住谷崎の多目的センターにある埋蔵文化財を移す計画がある。

問 役場庁舎の玄関ホール左側の自動販売機周辺を片付ければ、展示コーナーになる。また、住谷崎の多目的センターをリフォームすれば古民家全体が資料館になる。

問 歴史民俗資料館や中野拵資料館を建設し、学校教育、社会教育に活用とあるので、ぜひ後世に残す

よう実現して欲しい。

文化財は後世に残す

答 町長 達成には至っていないが、文化財を後世に残すことは大切だ。



中央公民館の文化財常設展示コーナー



塩井 早苗
議員

地域支援事業について

問 町長のマニフェストにある高齢者施策について、しっかりとやっていると、いつか気持ちに変わりはなにか。

答 町長 少子高齢化問題は重要な課題であり、高齢者福祉についても充実していくように努めていきたい。

問 介護保険の地域包括ケアシステムのうちの地域支援事業の方針について聞きたい。地域支援事業は、住民の主体的な運営をという国の方針である。押しつけではなく、住民が自ら必要性を感じ、立ち上がったものでなければその力は弱い。国が求めている町ぐるみの支え合いの仕組みと

いうものを、町ではどのように捉え、どのようなものにしていくのか。

答 健康福祉課長 医療・介護連携の強化、認知症施策の推進、地域ケア会議の制度化による強化、生活支援・介護予防の体制整備といったものが挙げられる。この4番目の生活支援体制整備に該当しているものが、現在住民の方が主体となって活発に活動している「邑助けネットワーク」である。

問 「邑助けネットワーク」の活動の一方、すでに17年間活動している「よっていがっせ」などに対する支援はどうするのか。新しい制度に無理やりはめ込む

うとしなくてもいいのではないか。既存の活動は、それをさらに充実していく。それこそ地域にある資源を生かすという地域包括ケアシステムの目的ではないか。

答 健康福祉課長 「よっていがっせ」は、福祉政策として2003年7月に生きがい活動通所支援事業という形で立ち上がった。包括ケアシステムの中の地域支援事業との整合性をとっていく必要がある。

問 当時、このような形態の高齢者のたまり場をつくるという機運がすぐ持ち上がり、この「よっていがっせ」をまねてつくった市町村はたくさんある。邑楽町でこんなにいい資源

があるということは、認めていいし、伸ばしていかねければならないと感じる。それは、町長の役目と思うが、町長の意見を聞かせてほしい。

事業の整合性が必要

答 町長 それぞれの事業についてはすみ分けも私は必要ではないかと思う。生きがい活動事業と邑助けネットワークとしての生活支援体制整備についての運営費の部分は、整合性を図っていく必要がある。活動している団体は、長い歴史を重ね頑張ってきた。整合性を図るのに、明日から、来年からということではなく、十分見極めた上で、できるだけ整合性がとれるような高齢者の福祉対策、見守りの対策も考えていく必要があるのではないかと考える。



「よっていがっせ」で生き生き過ごす高齢者（「よっていがっせ」のアルバムより）

一般質問



小久保 隆光
議員

地球環境の 温暖化による非常災害

問 非常災害時の避難情報が適切に町民に伝わるのか聞きたい。

答 **安全安心課長** 町では防災行政無線、テレビ、ラジオ、ホームページ、おうちお知らせメール、ツイッター、ヤフー緊急速報メール、広報車など複数の伝達手段がある。

問 想定外の地震が発生している。非常災害時対策本部を設置し、早急に対応する準備はできているのか。

答 **安全安心課長** 邑楽町は、震度6弱以上の揺れが発生する可能性がある首都直下地震緊急対策区域に指定されている。もしこ

のような地震が発生した場合、早急に対策本部を設置し、防災関係機関と連携し対応していく。

問 非常災害時の防災無線は、小中学校に設置されているのか。

答 **教育長** 邑楽中学校は防災行政無線の子機が職員室にあり、災害時からの情報を聞くことができる。邑楽南中学校と各小学校は、受信機のみ設置されている。

問 町では非常災害が発生したとき、避難誘導はどのようにするのか。

答 **安全安心課長** 町には、地域防災計画や避難勧告等発令マニュアルが作成

されている。それによつて、その時の気象状況や避難所への道路状況など総合的に判断し、避難勧告等を発令することとなる。

問 避難所は、現在いくつあるのか。

答 **安全安心課長** 邑楽町の避難所は現在62か所ある。その中で各行政区の公民館などは、長期間の滞在を目的としない一時的な避難所と位置づけられている。各小中学校、公立の公民館など15か所は、一定期間生活することを前提とした指定避難所として指定している。

問 被災者の生活の立て直しは、被災者だけでは

無理だ。自治体で支援策を考えておくことが重要であるが、どのように考えているのか。

答 **安全安心課長** 国、県、町で被災者に対する各種支援金や見舞金の制度を定めている。被災者生活再建制度では、全壊、大規模半壊になった世帯に対し、最大300万円を支給する制度となっている。今後、災害が発生した場合には、国、県と連携し、被災者の生活再建支援を図っていく。

問 非常災害時に国、県、町の連携と支援策について町長に聞きたい。

答 **町長** 近隣自治体の首長は、利根川上流河川事務所長、渡良瀬川河川事務所長、前橋地方気象台長と緊急時にはいち早く連絡が取れるようホットラインを結んでいる。有事の場合

には、町民が安全安心に生活ができるような体制づくりを今後とっていきたい。



第11区自主防災訓練の様子



小島 幸典
議員

令和2年度 出産祝金助成事業について

問 現在、町では出産祝金

について、第1子5万円、第2子10万円、第3子20万円を支給している。しかし、12月13日の全員協議会において令和2年度から一律2万円を削減し、対象乳児が満1歳となる翌月までに1回、子どもに対して買った物の領収書を添え、役場に届け出るように変更する提案があった。保護者は、領収書の管理も大変だ。一律2万円の値引きがどうして助成事業になるのか。

答 子ども支援課長 出産祝金については、平成

15年度から第3子以降に対して始まった。開始から15年が経過し、その間支給金額や支給対象者の変更を行っている。平成27年度からは、第1子から支給対象となった。現在の邑楽町出産祝金支給要綱は、平成27年度から5年間の時限立法であり、令和2年3月31日限りでその効力が失われる。この間の制度の費用対効果有効に使われているかどうかの視点も踏まえ、来年度に向け見直しが必要となり提案した。平成27年度から今年度までの出生数の推移、支給された出産祝金は子どものために使われ、子どもに還元されるべきという意見も産業福祉常任委員会であった。今回提案した来年度の事業内容は、出産祝金は生まれた子どもに直接還元できるように、まず祝金の一部2万円を現物支給のよう形で、今までの総額

と変わらない案とした。しかし、産業福祉常任委員会や全員協議会において、議員からの意見もあり、提案内容を再度見直し、検討する状況になっている。

問 平成27年度からは、町長の選挙公約でもあった第3子出産祝金の額の増額を議員発議し、全員賛成で可決し15万円から20万円になった。これは邑楽町の福祉行政の品位と熱意のシンボルとして、県下で話題になった。今回、出産祝金の内2万円は、子どものために買った物を自己払いし、その領収書をとっておき1年後に町はお金を支払うという。5年間、出産祝金は現金で支給してきた。今年

度は20万円支給され、来年度は18万円支給というのは差別ではないか。第2子、第3子の子育て家庭にとっては大きな負担と考える。町の事業者と交渉し、町から2万円の購入券を出したらどうか。購入先の業者へは年末など期日を決め、町が支払うことを提案するが

金額の削減は

考えていない

答 町長 改善案があったが、私も改善してい

ればと先の全員協議会で示した。決して、出産祝金の額を削減することは考えていない。先の議員の質問で、その範囲内で商品券という話があったが、貴重な税金をお祝い金としているので商業振興に役立つ方法がな

いかと考えている。



みんなで子育て

一般質問



島田 時男
議員

国道354号沿線の 開発について

問 町長のマニフェストでは、「国道354号沿線の開発で活気ある町づくりを進めます」とうたっている。国道354号沿線は、上り下りで1万2000メートルに及ぶ。直売所とターミナルの予定地は、その内片側約300メートル前後と思う。その他の1万1700メートルはどのように開発するのか。

答 町長 国道354号沿線の開発は、何とか開発できないものかと思案していた。結果、開発ができない状況になっている。都市計画法の市街化調整区域で、この地域は市街化を抑制することになっている。一定の面積を超えると特定の開発は可能だが、思い切

った開発ができないという都市計画法の決まりがあり、なかなか進んでいない状況となっている。何とかこの沿線も含めて開発していきたいので、今後も努力していきたい。

問 町長は、工業団地を造る場合、水の流れのこたや貯水池を作らなくてはと話していた。しかし、台風19号の時に町北部の河川は太田市から、南部は大泉町から水が滝のように流れてきた。新堀川と逆川の合流地点の通称三又は丁字からY字に改修され、今までは間違いなく100%その周辺は冠水したが、今回はあまり冠水しなかった。新堀川は、現在の水量よりも

数倍水が流れる量に改修する予定になっている。その水は、大泉町、太田市から流れ、邑楽町は水の通り道で、館林市方面へ流れる。水は、下流に流れるのが当たり前と思う。水の流れや貯水池を作らなくてはと終始していたが、それを打開するために県へ行く、国へ行く、そういう働きをこれからしてはどうか。

今後も努力していく

答 町長 具体的な排水問題についての指摘だが、現在、町には県が管理する一級河川が5河川ある。産業団地を形成する場合に重要となる河川が、新堀川沿線になる。今、県へ候補地

として挙げ、調整している。最終的には排水が大きなネックになっている。団地を形成する場合には新堀川、近藤川へ排水をしていくことになり、大きな予算がかかる見通しである。重要な施策になるので県との協議などをしていく。この団地形成ができるように、今後も努力していきたい。

その他の一般質問
・直売所について



新堀川と逆川の合流地点



小沢 泰治
議員

中学校の統合と町有財産の有効活用について

問 町長の今までの3期は、補助金にお世話になりながらの邑楽町ではなかったかと思う。物的、人的そして、いろいろなノウハウなど最大限に活用すれば邑楽町はずばらしい町になる。あらゆる面で日本一の環境にある。この町の財産を活用しないのがおかしい。町の最高人口は、2万8千人に届かなかつた。令和元年では人口2万6432人（日本人2万5738人、外国人694人）であった。邑楽町はこのような人口問題がある中で、何をすべきか。

答 町長 1年に約1000人ほど少なくなっている。子どもを産み育てやすい環境づくり、健康の長寿

命化の問題に力を入れ元気ある町づくりを進めていきたい。

問 東日本大震災、台風19号でも邑楽町は安全であった。農業団地、産業団地、農業の6次産業化を進め、日本の多くの産業が縮小経済に対応した施策をとっている。町長のトップセールスで切り込んでいき、国内回帰産業の誘致をしてはどうか。

答 町長 私自身が先頭に立って取り組んでいく。

問 邑楽南中学校の生徒数は減少している。中学校の統合をぜひ進めていただきたい。生徒数の推移について、邑楽町統合中学校

の昭和44年スタート時は819名、生徒数ピーク時1243名、その後分離し、邑楽中学校ピーク時が968名、現在が487名、邑楽南中学校ピーク時が530名、現在が209名である。現在、邑楽中学校と邑楽南中学校を統合した場合696名であり、邑楽中学校のピーク時と比較した場合、現在の中学生は中学校を一校に統合しても少ない状態にある。邑楽中学校、邑楽南中学校2校運営するために、校長はじめ先生方の経費、人件費、施設費ほかにいろいろある。子どもたちを優先順位の第一と考え、中学校の統合をぜひ、早急に進めてほしい。今生徒数が少ないために、いろ

いろ学校運営についても支障があるが、その解消が確実にできる。とにかく子どもたち最優先。邑楽町から巣立つ子どもたちが、社会で羽ばたけるように統合に向け、着手を考えていただきたい。

統合はゆくゆく考える

答 教育長 統合の問題だが、ゆくゆくはそう考えなくてはいけない。今早急に考える必要はないと思っている。今後、日本では外国人をたくさん受け入れるという話もある。私だけの判断ではなく、町長の政策で人口を増やすような施策があると思う。そういうことも見極め考えていきたい。



生徒数が減少する中学校



休憩室 The Lounge



栗原 弘美
(店高原・28区)

邑楽町交通安全指導員の仕事

私が町の交通安全指導員のお話しをいただいたのは、平成24年の年始めの頃だったと思います。あれから今年で8年目になります。

引き受けた時は、引き受けなければよかったと後悔ばかりでした。ですが、今ではこのお話をいただき、町のために少しでも私のできることを精一杯やらせていただくことと切り替え、交通安全指導員の任務に努めております。

私たちの仕事は月一回、月初めに小学校の登校時の街頭指導や、町の行事の時の交通警備などが、主な交通安全指導員の仕事になります。

冬の街頭指導は、朝は寒く休みたい時もありますが、子どもたちの元気な顔を見ますと寒さも吹き飛びます。

これからも、町での交通事故ゼロを目指して、私たち指導員全員で力を合わせて、町のために頑張ってまいります。

議会のうごき

11月

- 6日 議会運営委員会
- 7日～8日 群馬県町村議会議長会役員視察研修
町村議会議長会全国大会
- 13日 群馬県町村議会議長会議長研修会
- 18日 議会広報委員会研修
- 20日 議会運営委員会、全員協議会
- 26日 群馬東部水道企業団全員協議会

12月

- 11日 議会運営委員会
- 12日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 13日 全員協議会
- 17日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 23日～26日 12月定例会
(本会議、議会運営委員会
各常任委員会、全員協議会
広報委員会)
- 26日 館林地区消防組合議会
- 29日～30日 消防団歳末警戒の督励

1月

- 11日 館林地区消防組合出初式
- 12日 成人式
- 14日 都市計画審議会
- 15日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 16日 新年賀詞交歓会、広報委員会編集会議
議会報告会・意見交換会
- 17日 群馬県町村議会議長会理事会
- 20日 議会運営委員会、全員協議会
- 22日 広報委員会校正会議

報告 第1回邑楽町議会 議会報告会・意見交換会を開催



1月16日「第1回邑楽町議会 議会報告会・意見交換会」を開催いたしました。

邑楽町議会では、昨年秋に実施しました町民アンケートに続き、議会改革の一つとして行いました。当日は多くの方にご出席いただき、皆さま方と意見交換をすることができました。

皆さまからの貴重なご意見を今後の議会活動に生かしてまいります。

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は

3月3日 から **16日** を
予定しています

(開会原則、午前10時 一般質問は4日、5日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様子を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、中央公民館、長柄公民館、ヤングプラザに置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

URL <https://www.town.ora.gunma.jp/li/070/index.html>

詳しくは、議会事務局まで 47-5000 (直通)

議会報告会・意見交換会アンケート集計結果

邑楽町議会では、議会の公平性、透明性を保ち、町民と共に歩む「町民に分かりやすい開かれた議会」を目指しております。

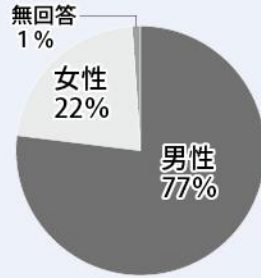
1月16日(木)に開催いたしました「第1回邑楽町議会 議会報告会・意見交換会」では、多くの方にご参加いただきありがとうございました。

議会報告会・意見交換会に関するアンケートの集計結果をお知らせいたします。

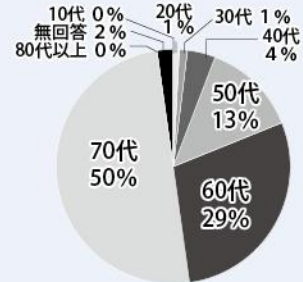
実施日：令和2年1月16日(木)

アンケート回収枚数：120枚

Q 1. 性別



Q 2. 年齢

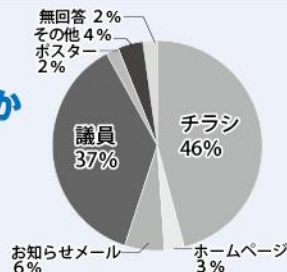


Q 3. お住まいの地域

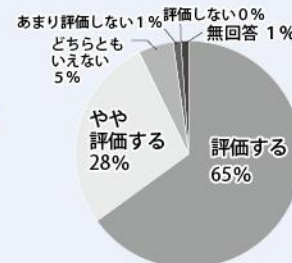
(行政区別参加人数)



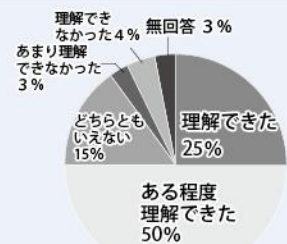
Q 4. 議会報告会を何で知りましたか



Q5-(1). 議会報告会を開催したことへの評価



Q5-(2). 議会報告会の内容について



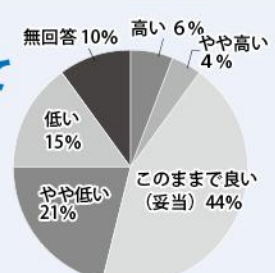
Q5-(3). 議会報告会の説明時間について



Q5-(4). 今後の議会報告会の開催する時間帯について



Q6. 議員の報酬についてどう思いますか



Q1. 性別

	回答数	比率
①男性	92	77%
②女性	27	22%
無回答	1	1%
計	120	100%

Q2. 年齢

	回答数	比率
① 10代	0	0%
② 20代	1	1%
③ 30代	1	1%
④ 40代	5	4%
⑤ 50代	15	13%
⑥ 60代	35	29%
⑦ 70代	61	50%
⑧ 80代以上	0	0%
無回答	2	2%
計	120	100%

Q3. お住まいの地域

	回答数
1区	0
2区	2
3区	3
4区	5
5区	2
6区	10
7区	2
8区	3
9区	3
10区	2
11区	4
12区	1
13区	2
14区	1
15区	3
16区	3
17区	4
18区	1
19区	1
20区	2
21区	1
22区	11
23区	6
24区	9
25区	3
26区	3
27区	1
28区	6
29区	0
30区	2
31区	3
32区	0
33区	10
34区	3
町内計	112
町外	4
無回答	4
計	120

Q4. 議会報告会を何で知りましたか
(複数回答)

	回答数	比率
①チラシ	63	46%
②ホームページ	4	3%
③お知らせメール	8	6%
④議員	51	37%
⑤ポスター	3	2%
⑥その他	6	4%
無回答	2	2%
計	137	100%

Q5-(1). 議会報告会を開催したことへの評価

	回答数	比率
①評価する	79	65%
②やや評価する	33	28%
③どちらともいえない	6	5%
④あまり評価しない	1	1%
⑤評価しない	0	0%
無回答	1	1%
計	120	100%

Q5-(2). 議会報告会の内容について

	回答数	比率
①理解できた	29	25%
②ある程度理解できた	60	50%
③どちらともいえない	18	15%
④あまり理解できなかった	4	3%
⑤理解できなかった	5	4%
無回答	4	3%
計	120	100%

Q5-(3). 議会報告会の説明時間について

	回答数	比率
①長い	5	4%
②やや長い	11	9%
③ちょうど良い	70	59%
④やや短い	19	16%
⑤短い	4	3%
無回答	11	9%
計	120	100%

Q5-(4). 今後の議会報告会の開催する時間帯について

	回答数	比率
①平日の昼間	11	9%
②平日の夜間	76	63%
③休日の昼間	22	18%
④休日の夜間	8	7%
無回答	3	3%
計	120	100%

Q6. 議員の報酬についてどう思いますか

	回答数	比率
①高い	7	6%
②やや高い	5	4%
③このままで良い(妥当)	53	44%
④やや低い	25	21%
⑤低い	18	15%
無回答	12	10%
計	120	100%

宮城県登米市

私の故郷は、宮城県登米市です。「登米」

と書いて「とめ」と読みます。仙台駅から北方へ70キロメートル、宮城県北部に位置し、岩手県との県境にある人口8万人の市です。市内はほぼ平坦地で、広大な田園地帯が広がっています。

水郷地帯でもあり、多くの渡り鳥が訪れる冬季でも凍結しない伊豆沼・内沼があり、国際的にも重要な渡

り鳥の飛来地でラムサール条約に登録されています。

冬になると白鳥やガンをはじめとする渡り鳥の群れでにぎわい、早朝の飛び立ちや夕方のねぐら入りなどの雁行は壮観です。また、マガンが飛び立つときの羽音と鳴き声は、1996年に環境省が選定した「残した日本の音風景100選」に選ばれています。

7月下旬から8月末に開催される「伊豆沼・内沼、長沼のはすまつり」は、湖面いっぱいにはスの花が咲き、小型遊覧船でピンク色のハスの花の間を進む眺め



小林 せき子
(下中野・1区)

はまさに極楽浄土を思われます。また、2016年には、小池東京都知事が東京オリンピックのボート、カヌー代替会場として長沼漕艇場を候補に挙げ、視察された所でもあります。宮城県にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



おうらまち
議会だより

No 162



伊豆沼・内沼の雁行

編集後記

穏やかに令和の年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

1月12日、中央公民館「邑の森ホール」において令和初の成人式が挙行され、新成人292人が祝福されました。今年にはオリンピック・パラリンピックも開催されます。平和で希望に満ちた一人ひとりが輝ける社会人になることを願っています。

昨年は当地でも「大雨特別警報」が発令され、災害の恐ろしさを実感しました。その教訓を活かし、自助、共助、公助の調和した防災体制の整備が求められます。何が起きるか分かりません。町民が心を一つに、災害に備えましょう。

「第1回邑楽町議会 議会報告会・意見交換会」には、多くの皆様のご参加、多くの貴重なご意見をいただきありがとうございます。議員一丸となって取り組んでまいりますので、ご支援よろしくお願いいたします。

(佐藤記)